



横浜市 技連協だより

第39号 平成20年12月10日

技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

発行 横浜市技能職団体連絡協議会
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-681-6639 F A X 045-664-9400

発行責任者 会長 畠山 滋

○ 第29回 よこはま技能まつり開催 ○

平成20年9月28日(日)、今年で29回目を迎える技連協の一大イベントである第29回よこはま技能まつり(主催:横浜市技能職団体連絡協議会)が横浜公園にて開催されました。

ハマの職人が一堂に会しての「よこはま技能まつり」は、市内の職人が、長年の経験と研鑽で得た衣・食・住・生活一般等にかかわる手作業・手仕事の技能を広く市民の方々に、披露し、継承していく事を目的として開催しています。

伝統の技はもちろん「ものづくりの楽しさ」「ものづくりの大切さ」を見て体験してもらい、その他相談コーナー、作品展示、直売なども行いました。今年度は、特に横浜市開港150周年プレイベントとして各ブース、特にステージでは、趣向をこらした「子どもイス作り」体験イベントを開催しました。

天候にも恵まれ、野田由美子横浜市副市長はじめ高崎市職業能力開発連絡協議会小林弘会長など多くの方々が出席される中、オープニングセレモニーでは、横浜市鳶工業連合会の皆さんによる木遣り・纏が披露され、会場を練り歩き、イベント会場を盛り上げてくれました。

会場には約5万人が訪れ、技能体験や実演などで大変賑わっていました。特に、多くの子供たちの参加が目を引きました。



各種表彰式受賞団体



子どもイス作り



畠山会長あいさつ



野田副市長あいさつ



横浜市左官業協同組合

350万市民がごみ減量・リサイクルに挑戦!

ヨコハマはG30

横浜市開港 150 周年プレイベント よこはま技能まつり各種表彰式より

☆毎年、開会式のセレモニーを木遣りと纏で会場を飾っている… 横浜市鳶工業連合会 会長 大谷潤一郎

この度は、名誉ある表彰を賜るとともに、ご丁寧に感謝状を戴き、当連合会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

当会は、毎年行われます「よこはま技能まつり」には、技連協発足当初より木遣と纏の行列で参加をさせていただいております。行列の先導をする2本の纏については、昭和31年に当時の横浜市長より『金の纏』を、神奈川県知事より『銀の纏』を贈られたものです。技能まつりの木遣・纏の行列は市民の安穏を祈り、技能まつりの会場を浄める行事であります。

これからも毎年行われる技能まつりが横浜市民に留まらず多くの人々に貢献できますよう、そして技能まつりの益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



☆ステージで素晴らしい技(野菜の彫刻)を披露している… 神奈川県中日調理師会 理事 釘持 正夫

当調理師会が技能まつりに参加するきっかけとなりましたのは、故勢津栄興元会長(横浜マイスター)からの参加依頼があったからで、10余年が経ちました。

いつも開催日が日曜日という事もあって、会員を集めるのが大変な時もありました。

今では年間の行事の中に組み込まれ、横浜市内のホテル等に勤めている当会員の協力で毎年色々な野菜彫刻を行うことによって会員の技術も上がり多くの会員が参加で出来るようになりました。

会場では、多くの人々に興味を持っていただいている、特に女性や子供達から一様に『わっ、すごい』『可愛い』といった言葉が数多く聞かれ、ステージで披露している会員も普段はお客様と直接言葉を交わす事も少ないので非常に勉強になっています。このような会員の声を聞き、これからも、なるべく多くの会員が参加できるようにしていきたいと思っております。

この度は、ありがとうございました。



☆ステージの上で初めて「大工さんと作る子どもイス作り教室」を開催した…

神奈川建築技術者協議会 会長 藤崎 辰徳

よこはま技能まつりで「子どもイス作り教室」(親子木工教室)を開催し「優秀団体表彰」を頂きありがとうございました。

今年は25組(50人)が一斉にステージの上で「子供イス作り」に挑戦しました。製作に入ると子供たちの目の輝きが違いスタッフ全員に一層力が入りました。図面を見ながら、材木に寸法を入れ、切断、釘打ち、最後に紙ヤスリを掛けて完成です。出来上がったときの嬉しそうな顔。大事に抱えて持ち帰りました。

来年も是非、子供たちに喜んでもらえる企画をしたいと思っております。建築技術者として作る喜びを感じてもらった有意義な一日でした。



☆技能披露・技能体験等で集客数の多かった…

横浜市左官業協同組合 会長 熊澤 俊明

泥団子は道具を使わず手で擦るだけの単純な作業ですが、磨けば磨くほど光ってきます。私達のモットーは、来場者に手作りの楽しさを通して達成感を味わってほしいということです。昨年参加されたという親子連れから「帰り道でもずっと磨き続けて、今でも宝物にしている。」と言葉をかけていただいた時、物を作る喜びが伝わったと実感できました。今年は、2~3歳の大変小さなお子さんの参加が目立ちました。嬉しい誤算です。団子のサイズの工夫やエプロンの用意など来年度に向けての課題も見つかりました。今回の表彰の理由が集客力であるという事が何よりも嬉しく、同時に励みになりました。

半年をかけて、技能まつりの準備をし、まつりの当日協力いただきました組合員と共に喜びを分かち合いました。

ハマの職人技が大集合

よこはま技能まつりチャリティー収益金を「神奈川新聞厚生文化事業団」へ

よこはま技能まつり参加団体からはチャリティー益金にご協力をいただきました。10月24日(金)、嶋山会長はじめ役員等が代表して神奈川新聞厚生文化事業団を通じて、チャリティー益金17万5千円を寄贈しました。ご協力いただきました団体の皆さんありがとうございました。

「技能まつり」は、横浜の市民生活を支える衣食住の職人が一堂に会し、その技と心を市民に伝えようと毎年、開いている。今年も九月二十八日、中区の横浜公園に三十四の団体が出席して開かれた。親子約六十人が大工さんの指導を受けて「木のいすづく」

「技能まつり」は、横浜の市民生活を支える衣食住の職人が一堂に会し、その技と心を市民に伝えようと毎年、開いている。今年も九月二十八日、中区の横浜公園に三十四の団体が出席して開かれた。親子約六十人が大工さんの指導を受けて「木のいすづく」

「第二十九回よこはま技能まつり」を主催した横浜市民技能職団体連絡協議会(嶋山会長、四十八団体)が二十四日、社会福祉のため、十七万五千円を神奈川新聞厚生文化事業団に寄託した。

「技能まつり」は、横浜の市民生活を支える衣食住の職人が一堂に会し、その技と心を市民に伝えようと毎年、開いている。今年も九月二十八日、中区の横浜公園に三十四の団体が出席して開かれた。親子約六十人が大工さんの指導を受けて「木のいすづく」

神奈川新聞 平成20年10月25日付

受賞の喜び

(敬称略)

現代の名工

中島 辰男 (男子服仕立職)
— 神奈川県洋服商工業協同組合 —



今から60年程前に故郷の長野県から、横浜の姉を頼って、姉の店に丁稚奉公に入ったのがきっかけで、この道に進みまされた環境の中でいろいろと教えてもらい、洋服裁縫師として今日までがんばってきた事で、このように素晴らしい賞をいただけたなんて本当に夢のようです。私の修業の場所は、特に誘惑が多い地域でしたが、その中であつても凛としてこの道一筋で、やり通せたのも、諸先輩やお客さまの方々の温かい励ましがあつたからこそ大変有り難く感謝の気持ちでいっぱいです。

まずは、この喜びをご指導いただいた諸先輩方はもちろん、私をこの道に送り出してくれた両親や姉と、これまでに、私を支えてくれた皆々様に感謝申し上げたいと思います。

本当にありがとうございました。

鈴木 榮治 (和裁師)
— 横浜マイスター会 —



この度、厚生労働大臣より卓越技能章「現代の名工」を授かり驚きと喜びを感じている次第です。和裁を始めて以来、ただひたすらに和服の仕立てや自分独自の技法、創作を追及してきました。それと同時に、後継者の育成や着物の普及に微力ながら力を注いでまいりました。今回の受章はそれらが認められた事であると思います。これもひとえに、私をこれまでにご支援ご指導してくださいました皆様のお陰と心より厚く感謝を申し上げる次第です。

これからも、この受章に甘んじることなく精進していこうと思っております。

誠にありがとうございました。

櫻井 俊雄 (建築板金工)
— 横浜市板金組合連合会 —



このたび「現代の名工」卓越技能者として労働大臣から栄誉ある賞をいただきましたことは身に余る光栄であります。これも、ひとえに今まで私を支えてくださいました皆様方のご支援、ご協力が実を結んだものと感謝をいたしております。

江戸時代から続く鑄掛屋の家業を継承する父親の元で基本的技術を教え込まれ、現在まで52年間建築板金業の道を一筋に歩んで参りました。

この受賞の重さを胸に秘め、今後もさらに精進を重ねて業界の発展、技能の向上、後継者育成のため、また地域社会に貢献すべく努力して参る所存でございますので、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度 横浜マイスター決定



神取 優弘 (かみとり まさひろ) — 横浜石工連合会 —

石工の中でも建築石材分野に秀で、石造物の耐震工法を得意とし、現場における特質を捉え、仕事の効率性と安全性を考慮し、石に対して無理のない仕上げを行う。また、石で犬やフクロウの彫刻、野仏などいろいろな物を作り、中でも癒しの音色を出す石で作った水琴窟は自信作。

第42回横浜市技能功労者表彰式・第40回横浜市優秀技能者表彰式 平成20年度横浜市技能職者育成事業対象団体報告

平成20年10月30日(木)第42回横浜市技能功労者・第40回横浜市優秀技能者の表彰式、及び横浜市技能職者育成事業対象団体報告が技能文化会館多目的ホールで開催されました。技能功労者75人、優秀技能者78人が表彰されました。

平成20年度横浜市技能職者育成事業

■対象団体：横浜市写真師会

■事業名：ベビー&キッズ『いいお顔』写真展事業

～ベビー&キッズ『いいお顔』写真展事業内容～

■日時：平成20年9月6日(土)～15日(月)

■場所：横浜ランドマークプラザ1F フェスティバルスクエア

■事業趣旨

- ・実験的な表現方法を撮影や制作で試みる
- ・プロの技をPR

■事業内容

- ・市民の方々に0から6歳くらいまでのお子様モデルを募り、通常は行わないサンプル写真を作りお客様のご希望や好み等をうかがい、「今何がお客様たちに望まれているのか」をつかむ。
- ・写真を会場に展示することで、多くの方々にご覧いただきプロの技を堪能いただく。

■対象団体：社団法人神奈川県塗装協会横浜地区支部協議会

■事業名：技能者マナー講習会事業

～技能者マナー講習会事業内容～

■日時：平成20年10月9日(木)、29日(水)

■場所：横浜市技能文化会館

■事業趣旨

- ・顧客に信頼される技能者育成
- ・提案できる技能者育成

■事業内容

- ・事例、ビデオ等を駆使しながらの講習。
- ・顧客に信頼される礼儀、マナー
- ・顧客とのグッドコミュニケーション

神奈川県を地区とする社団法人神奈川県塗装協会に加入する市内在住の塗装業者が組織した横浜地区支部協議会、単に技能だけでなく、顧客との対応を円滑にするために必要な知識習得のために開催。

横浜市技能功労者の皆様

〈横浜市技能功労者表彰とは〉

永く同一の職業に従事し、功労顕著な技能職の方々を対象に、個人の持つ極めて優れた技能と、他の技能職者への模範となり、指導的な立場にある方を称えるために設けられた制度です。

敬称略

☆受賞職種 30 職種 ☆受賞者 75 人

石 工 縄 嶋 召 治	造 園 田 中 力	板 金 津久井 義 晴
石 工 池 田 三起生	造 園 荒 井 敏 朗	表 具 師 不破野 武
印章彫刻 松 本 伸 夫	造 園 加 山 秀 男	表 具 師 平 石 修
型 枠 大 工 熊 谷 信 雄	染 物 洗 張 田 村 猛	美 容 師 田 中 萬里子
看板製作 石 川 峻	染 物 洗 張 森 本 秀 明	美 容 師 堀 内 テイ子
看板製作 木 下 正 夫	畳 工 田 中 隆 吉	美 容 師 石 橋 由 美
クリーニング業 秦 勝 美	畳 工 藤 原 敏 弘	美 容 師 井 上 と こ
建 築 士 望 月 誠	畳 工 四 宮 良 雄	婦人服裁縫師 本 柳 久 子
建 築 大 工 寺 沢 幸 隆	調 理 松 山 兼 重	洋 裁 師 加 藤 正 子
鉄 工 志 田 孝 夫	調 理 青 木 和 夫	洋 服 裁 縫 師 川 本 勝 洋
建 築 大 工 矢 吹 政 男	調 理 三 竹 昭 好	浴槽設備施工 雪 野 勲
建 築 大 工 小 澤 靖 夫	調 理 大 竹 將 吾	理 容 師 前 田 功 夫
建 築 大 工 深 津 文 夫	調 理 山 崎 昭	理 容 師 加 藤 好 弘
畳 工 窪 田 景 一	調 理 荻 憲 二	理 容 師 渡 邊 進
板 金 野 村 禎 二	豆腐製造業 石 橋 賢 一	理 容 師 志 村 守
建 築 大 工 相 川 二三夫	豆腐製造業 荒 井 幸 作	理 容 師 上 原 暢 仁
土 木 職 柳 下 忠 司	眼 鏡 調 整 外 山 紀 一	理 容 師 菟 田 静 夫
建 築 大 工 佐々木 忠 男	眼 鏡 調 整 遠 藤 貢	ワイシャツ加工 足 立 豊
建 築 大 工 渡 部 栄	鳶 職 岩 澤 進	和 裁 師 小 川 名 慶 子
板 金 長谷川 治 雄	鳶 職 伊 藤 一 夫	和 裁 師 森 田 輝 子
左 官 甲 斐 隼 人	鳶 職 田 澤 博 彦	和 裁 師 山 口 恭 子
左 官 田 岡 弘 伸	鳶 職 吉 原 正 男	(順不同)
左 官 村 山 勝 彦	配 管 金 子 繁 夫	
左 官 本 間 一 雄	配 管 石 川 敏 光	
写 真 師 原 田 稔	配 管 角 田 正 勝	
スクリーン印刷 福 本 幸 子	板 金 矢 嶋 秀 夫	
造 園 世 古 修 造	板 金 高 畑 幸 治	

横浜市優秀技能者の皆様

〈横浜市優秀技能者表彰とは〉

同一の職業に従事し、その職種を中心となって活躍している技能職の方々を対象に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能者への模範となる方を称えるために設けられた制度です。

敬称略

☆受賞職種 28 職種 ☆受賞者 78 人

石 工 鈴木 重 治	左 官 塚 本 竜 太	鳶 職 櫻 井 幸 雄
石 工 臼 井 瑞 穂	左 官 森 山 俊 一	鳶 職 小 嶋 秀 幸
石 工 相ヶ瀬 康 雄	左 官 望 月 秀 晴	鳶 職 田 澤 裕
印章彫刻 大賀 雅 雄	写 真 師 川 尻 恭 子	鳶 職 村 井 貴 幸
型 枠 大 工 畠 山 進	スクリーン印刷 濱 部 進	配 管 小 泉 透
型 枠 大 工 小 向 勝 博	造 園 萩 原 雅 章	配 管 森 馨
型 枠 大 工 三 善 康 博	造 園 相 澤 正 章	配 管 岡 田 敏 雄
看板製作 大川 慎 一	造 園 和 内 一 也	配 管 佐 藤 龍 仁
看板製作 高橋 浩	造 園 菊 地 雄 一	板 金 星 野 敏 彦
クリーニング業 久保 直 也	畳 工 山 田 誠	板 金 古 川 兼 司
建築大工 森本 優 次	畳 工 石 垣 孝	板 金 中 村 修 平
土 木 職 貞 方 清 仁	畳 工 稲 目 幸 浩	表 具 師 後 藤 公 規
建築大工 安田 喜 治	調 理 福 嶋 秀 之	美 容 師 青 木 康 司
建築大工 佐久間 貴 毅	調 理 山 崎 芳 輝	美 容 師 渋谷 真美子
建築大工 長野 幸 一	調 理 鮎ヶ瀬 聡 也	美 容 師 小 泉 智 子
防水工事 安田 浩 行	調 理 市 川 路 朗	理 容 師 立 石 修
建築大工 小林 孝 至	調 理 笹 原 憲 二	理 容 師 恩 納 克 之
ブロック建築 荒谷 尚 二	調 理 吉 田 一 男	理 容 師 若 林 武 司
塗 装 前 場 峰 樹	調 理 柴 田 光 雄	理 容 師 伊 藤 勝 二
内装仕上工 日野 智 史	調 理 池 田 明 宏	理 容 師 芙 頭 伸 幸
建 具 職 永 島 孝	調 理 末 岡 義 哉	理 容 師 古 橋 義 将
機械器具設置 飯塚 健 一	調 理 高 寺 高	理 容 師 相 澤 千 晃
建築大工 今 泉 健	電 気 工 事 丸 岡 明	理 容 師 鈴 木 稔
型 枠 大 工 荒 井 俊 喜	電 気 工 事 貴 島 真 治	理 容 師 萩 田 真
塗 装 齋 藤 俊 一	眼 鏡 調 整 草 山 隆 之	(順不同)
塗 装 大 塚 一 夫	塗 装 原 田 辰 彦	
ガス設備工事 濱 名 政 一	塗 装 岡 部 陽 彦	

職人から学ぶ講座（受講生の声）

◆「時計屋さんから学ぶ親子防水時計作り」

平成 20 年 7 月 26 日（土）—横浜時計眼鏡貴金属小売商組合—

親の目 「これぞプロ！」と感じたところ

- ◎専門的な事を分かりやすく説明したところ。
- ◎電池はマンガンの方が良いところ。
- ◎「時計」に対する気持ちに思い入れがあるところ。
- ◎秒針のバランスの話やスプリングドライブの話をして、気づかせてくれたところ。
- ◎時計作りにヤスリが大切ということ。

子どもの目

- ◎シール付けや飾り付けをしたのが面白かった。
- ◎アクリルを削るのが楽しかった。
- ◎いろいろな機械が見れて楽しかった。
- ◎時計を作るのがとても楽しかった。
- ◎お弁当箱に入れて時計を作るのには、びっくりした。

◆「プロから学ぶ親子パン作り」

平成 20 年 7 月 27 日（日）—横浜市洋菓子協会—

親の目 「これぞプロ！」と感じたところ

- ◎手際のよさ。
- ◎生地の伸ばし方、こね上げの見極め。
- ◎子どもに説明するのがとても上手なところ。
（説明しながらも、手は動かしながら、子ども達を見ながら説明するところ）
- ◎ネジリパンや型のパンを作るテクニックのよさ。

子どもの目

- ◎親と一緒に初めてパンを作って楽しかった。
- ◎パンをこねるのが、とても楽しかった。
- ◎形を作るのが楽しかった。
- ◎パンの中身を考えるのが楽しかった。
- ◎パンをこねるとき、手に付いたけど、最後はうまくこねられた。

◆「経師屋さんから学ぶ親子でおしゃれな花びん作り」

平成 20 年 8 月 23 日（土）—横浜表装インテリア協会—

親の目 「これぞプロ！」と感じたところ

- ◎手際が良い点
- ◎紙とのり等の性質を良く御存知で、楽しく参加させて頂きました。
- ◎紙の扱い方がさすがだなと思いました。
- ◎のりのつけ方から、全部「プロ」と思いました。
- ◎自分も勉強になりました。

子どもの目

- ◎とてもおもしろかった。
- ◎花びんづくりでつかれました。
- ◎楽しかった。
- ◎大変なこともあったけど、とても楽しかったです。

◆「板金屋さんから学ぶ親子表札作り」

平成 20 年 8 月 24 日（日）—横浜市板金組合連合会—

親の目 「これぞプロ！」と感じたところ

- ◎見るとやるのでは、とても難しく、プロの方は本当にすごいと感心する事ばかりでした。
- ◎磨き方、色の塗り方がプロですね。
- ◎手際の良さ道具の使い方はさすがと思いました。
- ◎親切に細かく指導して頂きました。また、参加してみたいです。

子どもの目

- ◎とっても楽しかったです。夏休みのいい思い出ができました。
- ◎表札作りはとてもむずかしいなと思いました。
- ◎難しくて、みんなやっぱり職人だな、と感じた。
- ◎思ったより大変だった。手伝ってもらってよかった。

- ◎「磨きの後に「指紋」がつくと手の油がついてしまう」と言われたので指紋のつかないようにするのが大変で、でも最後に色付けた時に油が出てきてしまい、うまくできなかったが何度もやり直した。やっぱりむずかしいなあ～と思いました。

「これぞプロ！と感じた」ところ

◆「ふとん屋さんから学ぶ体にやさしい枕作り」

平成 20 年 7 月 28 日（月）—横浜マイスター会—

- ◎綿の詰め方で、真ん中を割りながら入れるところ。
- ◎縫い方がすごいところ。
- ◎とても簡単そうに仕事をこなすところ。
- ◎糸の締め方がまねできない。
- ◎手際の良さ。

◆「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作りパート 1」

平成 20 年 8 月 10 日（日）—横浜豆腐商工業協同組合—

- ◎豆の種類と特徴がよく分かっているところ。
- ◎素材へのこだわりが強いところ。
- ◎おもしろくお話をしながら、受講させてくれたところ。
- ◎にがりの混ぜ方がうまいところ。

◆「プロから学ぶ中国料理のコツ」

平成 20 年 9 月 24 日（水）—神奈川県中日調理師会—

- ◎下ごしらえ、油通しをしっかりとすること。
- ◎講師が作ったときの試食の味と自分達が作ったときの味が違って、さすがプロと思った。
- ◎下処理の大切さを教えてくれたところ。
- ◎器材の使い方や料理過程のタイミング、見極めのところ等。
- ◎エビ、ネギの扱い方がすばらしいところ。
- ◎今までは本格的な中華料理は我が家では作らななかったけれど、今回はプロのコツで、絶対に家で作って家族を喜ばせてあげようと思わせたところ。
- ◎ちょっとしたコツをたくさん教えてくれたところ。

◆「プロから学ぶおしゃれなネイルアート」

平成 20 年 9 月 23 日（祝）—横浜市美容組合連絡協議会—

- ◎全てのプロセスがプロだと思いました。とても楽しかったです。
- ◎小さな爪の面積に細い筆ですばらしい絵をかくところ。
- ◎繊細なラインと色づかいでのネイルアートが素晴らしいところ。
- ◎細かい筆でハイビスカスの花を書いていたところ。
- ◎とても細かく、絵を写真のようにとてもきれいに描いていたところ。
- ◎すべてのプロセスがプロと感じたところ。

◆「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」

平成 20 年 10 月 26 日（日）—社団法人神奈川県塗装協会—

- ◎作品の悪い部分の原因を見ただけでわかること。マスキングテープに塗料がついてなかった。
- ◎初心者にもかみくだいて説明してくれたところ。
- ◎カン所をとらえているところ。筋が通っている（こだわりを持っている）ところ。
- ◎やらない方がよい項目をはっきりと説明し、安全上の注意をはっきりと説明してくれたところ。
- ◎手際の良さプロのプライドを感じたところ。
- ◎実際に塗る手際の美しさ。
- ◎要点を細かく解説するところ。
- ◎道具の扱い方、塗る前の準備、塗り方。
- ◎ハケの動かし方、塗料のまき方、マスキングテープの貼り方。

職人から学ぶ講座 — 今後の予定 —

- 「プロから学ぶ洋菓子作り」—横浜市洋菓子協会— 1/25（日）
- 「プロから学ぶベストとスカートの縫い方」—神奈川県洋装組合連合会 1/16～3/6（金）全8回
- 「花屋さんから学ぶお祝いのフラワーアレンジメント」—神花協横浜地区生花商協議会— 2/22（日）
- 「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作りパート 2」—横浜豆腐商工業協同組合— 3/22（日）
- 「経師屋さんから学ぶおしゃれな色紙作り」—横浜表装インテリア協会— 3/29（日）

各団体の活動報告

第11回 横浜マイスターまつり開催

～開港 150 周年イベント～



平成 20 年 11 月 22 日(土)横浜市技能文化会館と大通り公園で、第 11 回横浜マイスターまつりが開催されました。

横浜マイスターまつりは、各マイスターたちが自らの技能を披露することなどにより、市民に手仕事・手作業のものづくりの良さへの理解を深めてもらうことを目的として開催されています。今年は、来年の横浜開港 150 周年イベントとして、「横浜もののはじめ」の職種である理容とクリーニングのマイスターからステージイベントで実演等が行われました。今回は、32 人のマイスターがそれぞれのブースにおいて卓越した技能をお客様に披露しました。また、市長もステージイベントに参加され、洋菓子製造の山本次夫マイスターのケーキを堪能されました。来場した市民の方々からは、マイスターの卓越した技を見て、あちこちから感嘆の声があがっていました。



青年部の活動

技能まつり

「ちびっこランド」(子供向け手作りおもちゃ教室開催)と飲食販売で参加いたしました。今年のちびっこ教室では「割り箸ゴム鉄砲」の工作教室を開催いたしました。天候にも恵まれ、今年は盛況でした。

青年部の皆様ご協力ありがとうございました。

四市交流会 (川崎市開催市) 参加都市 藤沢市・富士市・横浜市

●平成 20 年 10 月 26 日(日) 午後 1 時～午後 5 時

●—川崎市生活文化会館(てくのかわさき)—

川崎市青年部の主催による四市交流会が開催されました。各都市の技連協の青年部の現状と課題についての報告と活性化に向けた取り組みについての意見交換をしました。

各都市、経済状況や少子高齢化や後継者不足などわれわれを取り巻く環境は一段と厳しく、現状維持もなかなか大変な状況のようです。

そのような現状の中で、各都市の青年部は、市民への技能職振興PRや魅力ある活動など新たな試みも含めて、模索し頑張っている様子について活発な意見交換をしました。

その後の親睦会では、ジャズバンドによる演奏の中、各都市の交流を深めました。

今後の予定

●平成21年2月6日(金)午後7時～ 青年部講演会 技能文化会館 802号室

●平成21年3月15日(日)午後6時～ 青年技能者の夕べ 技能文化会館多目的ホール

後継者育成に向けて

～平成 20 年度横浜市技能職者育成事業に選ばれて～

横浜市技能職者育成事業の取り組みについて

社団法人神奈川県塗装協会 常任相談役 飯野忠明

情報化の浸透や消費者ニーズの多様化等々の進展は、塗装業界においてもお客様が、塗料や色をはじめとする塗装の知識を我々よりも、良く知っていることが多くなり、塗る技能者だけでなく、グッドマナーやグッドコミュニケーションにより、新商品や工法にも精通し、お客様への対応も的確にでき、かつ提案できるよう付加価値の高い技能者育成が必要となっております。

しかし、技能者は、マナーやコミュニケーションを不得手としており、ややもすると自分達は技能だけ、単に塗れば良いという傾向があります。



マナーやコミュニケーションを当たり前に行える技能者育成として企画した「技能者マナー講習会」を「横浜市技能職者育成事業」へ申請を行い、2回開催しました。

日頃扱う刷毛やローラに代わり、接客マニュアルとにらめっこをし、慣れない横文字の講演やビデオにより、好まれるマナーやグッドコミュニケーションを身につけるものです。

今後は、本事業を充実させ、対象を県内全域へと拡大、継続的な実施を行い、時代に相応しい後継者や技能者の育成に努めていきたいと考えております。



『いい顔』写真展について

横浜市写真師会 会長 松島敏章

横浜市写真師会では、毎年0才児から6才児位までのお子様モデルを募りベビー&キッズ『いい顔』写真展をランドマークプラザにて開催し、プロの技をご堪能していただきます。この写真展は、通常のスタジオ写真をはじめ、若手が中心となり、極めて実験的な表現方法等で撮影や制作を試み、お客様とのコミュニケーションに重点を置き日々の活動に反映させています。

この事業は技能職者の技能の向上と発展が期待され「平成 20 年度横浜市技能職者育成事業」に選ばれました。今年は 1200 人のお子様モデルの参加で 3 万人以上の市民の方々に見ていただきました。



第 17 回ベビー&キッズ『いい顔』写真展 2008.9.6～9.15 ランドマークプラザ 1F

第 11 回全国技能職団体連絡協議会会議に出席して

横浜市技能職団体連絡協議会 会長 畠山 滋

開催都市：尼崎市技能職団体連絡協議会
日時：11月21日(金)～22日(土)
場所：ホテル「ホップイン」アミダ
テーマ：①平成 20 年度新規事業・重点事業について
②技能継承事業について

全国から 14 都市の参加のもと、左記テーマに従いお互い関連な意見交換をいたしました。テーマ①新規事業・重点事業については各都市とも表彰事業や技能職振興に取り組み、②技能継承事業については、各都市ともこれまでどおりの少子高齢化の中で後継者育成に重点的に取り組み、手づくりの良さ、手づくりのあたたかさはもちろん、「ものづくりの喜び」「伝統技能の大切さ」を知ってもらうために、インターンシップ事業や子どもたちを中心に、技能職者に学ぶ「技能体験学習」を実施、将来を担う技能職者の発掘・育成に積極的に取り組んでいるという報告がありました。

技連協の今後の行事

☆新春交流会・研修会
日時：平成 21 年 2 月 13 日(金) 午後 2 時から
会場：ホテル横浜ガーデン
☆技連協ボウリング大会
日時：平成 20 年 3 月 10 日(火)
午後 6 時 15 分スタート
会場：新杉田ボウル



事務局から

日頃より、「技連協だより」に、ご協力いただき誠にありがとうございます。各団体でのいろいろなイベントや活動をお寄せいただきありがとうございます。今後とも、皆様の活動状況を FAX でも結構ですので、ぜひ、事務局までお知らせ願います。

(TEL 681-6639 FAX 664-9400)